



パンフレット No. MA257
2011年8月 作成
工 業 用

蛍光抑制剤

センカフルオレンス P-58

(SENKAFLUORENCE P-58)

センカフルオレンス P-58 は、含窒素化合物を主成分とした蛍光抑制剤です。蛍光増白剤含有紙に対して外添処理することにより、優れた蛍光抑制効果を発揮します。

性 質 ・ 性 状

外 観	淡黄褐色液体
成 分	含窒素化合物
イ オ ン 性	カチオン
pH	約 6.5 (1%水溶液)
有 効 成 分	約 35%
溶 解 性	任意の割合で水に溶解します。 (上記の数値等は代表値であり、規格値ではありません。)

特 徴

1. 蛍光増白剤含有紙に対する外添処理により、優れた蛍光抑制効果を発揮します。
2. カチオン性・ノニオン性薬剤だけでなく、アニオン性薬剤との相溶性も良好であり、サイズ剤・紙力剤等の外添薬剤との併用処理が可能です。
3. 本品を使用した処理による黄変、耐光性の低下はわずかです。

使 用 方 法

蛍光増白剤の含有量やパルプの種類等により異なりますが、センカフルオレンス P-58 の標準使用量は 0.3 ~ 5.0% o. w. p. です。

蛍光増白剤含有紙に対して、室温から 50℃ で外添薬剤溶液を塗工または噴霧により所定量処理した後、100℃ ~ 180℃ で加熱乾燥します。

試 験 例

蛍光抑制効果評価試験（塗工を想定した外添処理）

試験紙（蛍光増白剤含有紙）

NBK P パルプ

蛍光増白剤 Kayahor 3BS Liq.（ジスルホタイプ） 1 %o. w. p.

坪量 150g/m²

蛍光抑制剤

センカフルオレンス P-58 : 0 (ブランク), 0.1, 0.25, 0.5, 1.0, 2.0 %o. w. p.

(固形分換算)

処理方法（外添処理）

W e t → D r y

R. T. 110°C×10 分

Pick up 100%

センカフルオレンス P-58

蛍光抑制効果 確認方法

分光測色計を用い白色度を求め、下記の式より蛍光強度を算出。

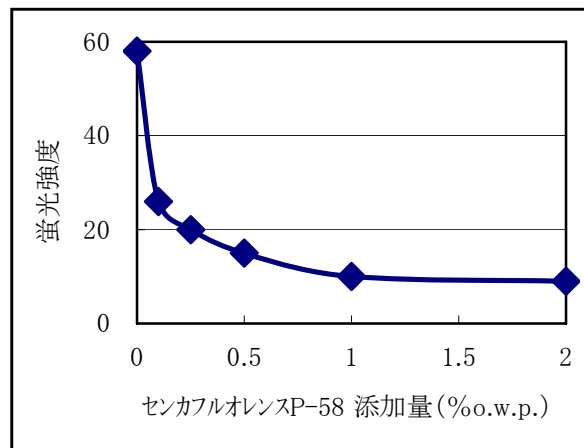
また、蛍光抑制剤処理前後の蛍光強度から蛍光カット率を算出。

$$\text{蛍光強度} = (\text{照射光源に UV を含む条件での白色度}) - (\text{照射光源に UV を含まない条件での白色度})$$

試験結果

センカフルオレンス P-58 の蛍光抑制効果

センカフルオレンス P-58 使用量 (%o. w. p.)	蛍光強度	蛍光カット率 (%)
0 (ブランク)	58	—
0.1	26	55
0.25	20	66
0.5	15	74
1.0	10	83
2.0	9	84





ご 注 意

使用に際しましては充分試験の上ご使用下さい。

入 目

1 8 kg

取扱いおよび保管上の注意事項

- 1) 取扱い中は、直接身体に触れないように保護手袋、保護メガネを着用して下さい。
- 2) もし誤って眼や口に入ったときは、直ちに流水でよく洗い流し医師の手当てを受けて下さい。
- 3) 皮膚に直接触れた場合は、直ちに流水でよく洗い流して下さい。もし発疹その他の異常が生じた場合は速やかに医師の手当てを受けて下さい。
- 4) 取扱い後は手洗い、うがいを充分に行って下さい。
- 5) 使用途中の容器は密閉し、異物が入らないようにして下さい。
- 6) 保管に際しては直射日光を避け、冷暗所（5℃～35℃）で保管して下さい。
- 7) 廃棄するときは、産業廃棄物として処理して下さい。

お 願 い

弊社発行の「製品安全データシート（MSDS）」を用意しております。併せてご活用下さい。